

ユニークなネーミングで、直売所でも大好評！

長首カボチャ「ながちゃん」の導入事例紹介

雪印種苗（株）

畑作園芸本部 営業課

1. はじめに

最近の野菜は個性化がすすみ、いろいろな特徴を持つ野菜が市場に出回るようになってきました。特に販売面においては農協等の「朝市」や幹線道路沿いの「道の駅」に設置される、いわゆる「直売所」が鮮度の良い野菜や規格にこだわらない販売で消費者ニーズをつかみ、確実に需要が広がっています。

合わせて地域特産品的な個性豊かな珍しい野菜も、観光客目当てだけではなく、地元の食材として「旬」を醸し出しています。生産者と消費者の距離が縮まった「直売所」からいろいろな新しい野菜が飛び出てくるようになりました。今回、果形のかわった特徴的なカボチャの新品種「ながちゃん」について、直売所売りに取り組んだ導入事例をご紹介します。

2. 「ながちゃん」の形に注目！

茨城県笠間市の青柳さんは稲作の他、カボチャ、切り花等が主作物となる経営をおこなっており、カボチャは約20年前から長年取り組まれ、今年も約40a作付けされています。毎年2月20日前後に播種しハウス内で育苗し、3月下旬頃に畑へ定植します。当地は春先の冷え込みもあり、定植後4月いっぱいにはトンネル内にべたがけをして、ビニールによるトンネル栽培をおこなっています。

本品種「ながちゃん」は、その長い特徴的な果形から直売所向けとして興味を持っていただき、昨年からの試作をおこなっていただきました。もちろんユニークな形だけではなく、食べておいしいカボチャであることも高く評価されました。

3. 「ながちゃん」の栽培特性

品種特性として、やや草勢が旺盛になる「ながちゃん」ですが、2月下旬播種のトンネル栽培では5月中旬頃開花を迎え、比較的交配もスムーズで、概ね1つる2果ずつ着果させることができました。ただし今年は5月の天候不順が長く続き、昨年よりも着果は遅れる結果となりました。青柳さんは畑で十分完熟させてから収穫する方法をとっており、他の品種よりやや熟期の遅い「ながちゃん」は、開花から55日以上かけて完熟させ、果梗部分全体がしっかりコルク化したものを収穫されました（通常は開花後45日程度で収穫することは可能）。

果重は2～3kg台の玉がほとんどで、小果やくず果もなく歩留まり高く、収量性も概ね満足のいくものでした。



ながちゃん

4. 直売所で 大人気の「ながちゃん」!

「ながちゃん」を地元直売所で販売したところ、見た目のユニークさからお客さんから大注目。とても大きなカボチャで皆さんびっくりされていました。買っていかれたお客さんからはホクホクしていて、甘みも強くおいしいカボチャで、すぐにリピーターがつかまりました。また果皮が薄く、果肉が均一で料理に使いやすいこともわかり（後に包丁が入りやすく、とても切りやすいことも大好評に）、話題のカボチャになりました。

5. さいごに

残念ながら今年は十分な量が確保できず、直売所への出荷量が減ってしまいましたが、見た目だけでなくおいしいカボチャであることから、お客さんからたくさん出して欲しいとの声が多いとのことでした。また、お客さんからは「ながちゃん」という名前はかわいいし、覚えやすいねとのお話もいただきました。



ながちゃん



青柳さんカボチャ園場